

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	落合運動施設管理運営費				
担 当 課 係 名	生涯学習 課		社会体育 係	作成者	草薙 正勝
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画の ページ 97、81
	基本計画	スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備			
	主要施策	スポーツ施設の整備、管理			
予 算 費 目	一般 会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	2 目	体育施設費
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市都市公園条例・仙北市都市公園条例施行規則				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市内の住民
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	スポーツを通じた交流の場の提供及び心身の健全な発達に寄与する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	施設の維持管理修繕及び貸出・利用者調整等をおこなう。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	野球場利用可能日数	目標	日	217	153	217	
			実績	日	217	153	217	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	野球場利用稼働日数	目標	日	217	153	217	
			実績	日	86	26	41	
			達成度	%	39.6%	17.0%	18.9%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				4,946	7,330	5,084	
	人 件 費 (B)		—		1,963	2,018	1,981	
	職 員 数		—		0.25	0.25	0.25	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				6,909	9,348	7,065	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他				64	18	68
		一 般 財 源				6,845	9,330	6,997
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		31,839	61,098	32,558	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		217	297	228	

【事務事業の今までの成果】

スポーツによる地域の交流の場となっている。
中学校公式野球大会・高等学校野球大会・一般野球大会等に活用されている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	設備の良い施設、目的にそった施設が増えている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	施設の整備(グラウンド・芝生等)

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続(実施)	野球場の使用は主に試合のため稼働率は低いが必要施設である。 ゲートボール場及び公園については常に利用者が活動している状況である。
	B 1 見直しの上で継続(拡大)	
	B 2 見直しの上で継続(手段改善等)	
	B 3 見直しの上で継続(縮小)	
	C 1 大幅な見直しの上で継続(拡大)	
	C 2 大幅な見直しの上で継続(手段改善等)	
	C 3 大幅な見直しの上で継続(縮小)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	
	E 終了(完成及び目的を達成し終了した事業)	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	野球場の利用は必ずしも多くなく、利用者増加のための対策が求められるところです。効率的な管理運営の確保とあわせて取り組む必要があると考えます。

一次評価診断図

